

# 創刊号

発行日 平成22年6月1日  
発行 豊岡市中央町5-35  
事務局 来迎寺中  
ホームページ <http://busshinji.in>

# インド仏心寺通信

インド仏心寺を支援する会

## インド仏心寺通信創刊にあたり

理事長 加藤 光照

お釈迦様が王子という裕福な生活を捨て、あえて厳しい苦行に身を投じ、最後には一粒の米粒で一週間の断食に耐え抜くという、命をかけた苦行の末に覺りを得られて人類の曙として、新たな救いの道をお開きくださった。

その様なお釈迦様の聖地に、多くの人々の賛同を頂いてお寺を建て、早十年が過ぎました。これも偏に多くの方々の善意のお陰と、心より感謝しお礼申し上げます。

今、仏心寺は新たな局面に直面しております。お寺はできたものの、その後の運営についてなかなか現地に行くことができず、現地の方々にお願いするばかりでした。そんな状況の中でも、日本人や外国人の多くの人たちが仏心寺を訪れ、私たちの知らないうちに良きにつけ悪きにつけ、仏心寺の評判が人から人へと伝わっていく事となりました。それは、私たちの当初の思いや目的と違う方向に向かっていている事となっております。そして、一昨年そのことにやっと気付かされたのであります。

2009年より、1ヶ月3ヶ月の短期であります神戸/安養寺・清水良将さんに数度に渡り駐在をして頂き、現状の把握と改善をしてまいりました。今年は、傷みが表面に現れてきた建物の全面的な修理をしてまいります。

また、心の悩みを持つて訪れた人達やお釈迦様の聖地で学びたいという青年僧も多くおられます。今後も、直接現地で対応のできる日本人僧侶によります駐在をできる限り続けていき、仏心寺の運営を補佐していきたく思っております。



心機一転ではありませんが、当初の志しと多くの人たちの思いを重く受け止め、誰もが何時でも利用のできる仏心寺の実現に努力していく所存であります。今後とも、宜しくご支援頂きますようお願い申し上げます。

### インド滞在記

### インドって こんなにもおもしろい！

昨年引き続き今年の二月、当会理事・清水涼裕師のご次男であります清水良将さんが仏心寺に滞在し、お寺の管理状況の把握や仏心寺の僧侶として地域の人たちとの親交を深めてきてくれました。そんなインドでの出来事を、毎日ブログでホームページに掲載しておりますが、インターネットが苦手な方のためにも、今一度この誌面を使いご紹介させていただきます。

#### 2月7日（出発）

深夜0時50分発の深夜便で、現地時間で朝5時過ぎにバンコクの空港に到着の予定。が、飛行機のトラブルで出発が1時間延びた。朝6時過ぎにバンコクの空港に到着。日曜日の夜なのに、日本人がものすごく多かった。偶然、檀家さんの娘さんがCAとして乗っていた。全く気付かず、降りようとした時に話しかけてくれた。

お家にお参りした時に話をしたことがあり、「インドに行きたいけど中々行けない」と言っていたのを覚えていた。仕事なので、ゆっくり話できなかったが、手紙を手渡してくれ、そして「がんばってください」と一言いただいた。突然の出会いにびっくり、こうして応援してくださる方がいることは本当に嬉しい。



バンコクからインド・ガヤへの飛行機に乗り換える。この、バンコクからガヤ線は意外と知られていない路線である。特に、インドに行く人でバックパッカーの人には意外と知られていない。

#### 2月9日（インド到着）

昨日到着したばかりということもあり、朝はちよつとゆっくり目に起きる。日本とは違い暖かいので、布団の中から出るのも簡単である。さつそく、本堂でお勤めを行う。

荷物の整理をしていると、昨日約束をしていたシンさんが仏心寺を訪れる。お土産を渡し話をした後、シンさんが街に行くと言うので一緒に行くことに。街といっても、すぐ近くのバザール。そんなに大きくない。シンさんの用事で、薬を飲むためにお菓子屋さんへ。

薬とお菓子。どうしても結びつかない。けれど、シンさんがいうには、甘い汁をたっぷり吸った団子みたいなお菓子を割って、そこに薬を入れて挟んで食べるのが、インド流ということである。足の痛みどめの薬と言っていたから、その薬だけかもしれないが？。

2月12日は、シブアのお祭りである。名前は「シブアラテリ」（ラテリは夜という意味なので、シブアの夜という名前）シブアとは、ヒンドゥー教の大切な神様である。昔、人間がいない時代に、二人の神様がこの世界に現れた。男の人の名前が、シブアである。（女の人の名前が、シブアにお祈りをして、シブアの様な人が、シブアにお祈りをして、シブアの様な人のお祭りという事である。インドではたくさんのお祭りの神様のお祭りがあります。

### インドの太陽の里親になりませんか？ ～インド仏心寺～

お釈迦様が悟りを開かれた仏教の聖地ブダガヤに、慈善活動を目的として2000年、仏心寺は建立されました。2003年には家庭が貧しくて学校に行けない子供達のためにチルドレンスクールを開校しました。今日も仏心寺の境内では沢山の子ども達が笑顔で学んでいます。2007年からは、多くの皆様に子供達の成長を願って頂きたく里親制度を始めました。このチルドレンスクール里親募金は、1年間で一人の子供にかかる費用を一口として募集しています。

あなたも、太陽の子供達の夢をはぐくむお手伝いをしてみませんか。

ホームページ <http://busshinji.in>



#### インドブダガヤ

仏心寺宿坊滞在一ヶ月の修行の旅

2010年11月下旬～12月下旬 約一ヶ月

関西空港発着 1名催行 旅行代金・詳細はお問い合わせください



シンさんが「今の人間は、自分が苦しんでいるときは、周りの人が神様に見えて助けを求める。自分が幸せの時は、周りの人は見えません。そして自分だけしか見えなくなる。人間は、考える力があるから、自分のことだけじゃなく、周りの人のことを考えて助けることができる。だから、人間なんだ。けれど、周りの人が見えなくなると自分だけでいい人は、人間じゃなくてその辺にいる動物と一緒に。動物は食べ物とか、自分が満足すればいいだけで生きていくから。今の人間の八割ぐらいは自分だけを考えている」と。

#### 2月10日

本日も朝起きて、いつも通りお勤めを。

朝ご飯は、道端にあるお店で10ルピー（200円）のカレーを食べる。サモサを潰した上にカレーをかけ、ヨーグルトとベビースターラーメンのようなものをかけて食べる。

僕のお気に入りである。それを食べた後、時間があるのでお昼間の「大塔」へ。

カメラをもった人たちが撮影をしている。初めは中国人みただったが、話し声を聞くと日本語で話している。一番前の人は俳優さん？よくよく見てみると、役所広司さんだった。びっくりですね。はじめて本人を見ました。しばらく見ていると、お出でと言われて近くに行く。ちよつとだけお話をし、撮影しながらは・・・周りのスタッフさんもみんな疲れ切った顔をしてました。プロデューサーさんと話をしてみても、本当に大変だと。しかも不況だからお金もなかなかかけられない・・・と。



フリーダイヤル 0120-408-12  
<http://www.saray.co.jp/>  
大阪市中央区淡路町1-2-10RRビル  
TEL 06-6232-3012

株式会社 **トラベルサライ**

見ていて、本当に大変の一言しか浮かんでこなかったです。6月に放送みたいです。僕はもちろんでません！役所広司さんの名前が強烈なので、今日はここで終わります。また明日。

2月11日

本日はまた出合いがありました。

お一人は、去年三か月間いたときに会った、日本の女性。たまたま大塔のお参りにいったら約一年ぶりに再会。今年も、しばらくお勤めをするために滞在するという。いきなりの出合いに、お互いびっくりです。一年ぶりの再会なのでつる話もありますが、後日ゆつくり時間があるときに話をする約束をしました。

次に会った人は、インドのドラムサラというチベットの人が集まっている場所に17年通っているという日本人。チベット仏教を勉強している方で色んな事を知っている人です。ドラムサラの事や、旅行者の事、仏教の事など、一緒にご飯をしながらお話をしていたら、1時間があつという間に過ぎてしまいました。

晩御飯には、仏心寺に宿泊している台湾のお坊さんが、台湾に一回も行ったことがないと言ったら「ご飯を作ってあげる」と晩御飯を作ってくれました。たくさん野菜と漢方薬みたいなものが入ったお鍋と、台湾のライス、そして、大豆を粉にして練って乾燥させた作ったさきイカのようなものを食べさせてくれました。

2月12日

今日は、前も書いたが「シブアラッター」というシブア神のお祭りでした。そして、この日は絶対に雨が降るとインドの人は言っていました。

今日も、シンさんがまた違った野菜のカレーを食べさせてくれるというので家に向かいました。天気もよかったです

ので歩いて向かうことに。道を歩いてみると、賑やかなクラクシオン車に自転車、ぎりぎりを通って行く。道端で泥まみれになりながら遊んでいる子供たち。ごみごみしたお寺がたちならぶ風景から田園風景に変わってくる。ふと道の端をみると、小さい30センチぐらいのお堂がある。中には神様の像がある。インドの道端にはたくさんの大小の神様を祭っているお堂があり、大きいお堂には車で通る人が安全を祈ってお賽銭を入れたりする。30分ぐらいで家に到着。天気がいいから外の庭でご飯を食べようということになり、正面には畑・後ろには子持ちの牛がいるという風景の中カレーをいただく。朝ご飯です。おいしく頂いていると、異変が。急に空が暗くなってきた。とたんに、突風が吹きだした。砂埃で前が見えなくなった。バイクに乗りやつの思いでお寺に到着。風と雨でお寺の中は草や砂まみれ。一時間もしたら青空に・・・。変な天気だが、でも今日は雨が降る日と聞いていたのは本当に当たった。



2月13日

本日は、土曜日ということで、去年行ったときに書いたキチリー（カレー粥）の日です。インド人のスタッフを作るのでいつも辛さなどが変わり、今回はちよつと辛めの味付けでした。

夜には、数人の長期滞在の日本人の方とお会いしてお話をしました。そのうちの一人の方は、日本の中で物に溢れすぎていてから、なにもない世界に行きたいという人だった。インドのブツダガヤも田舎だがそれでもまだ賑やかすぎるから、しばらくしたらネパール

に移動するという話だった。また、日本の仏教のことであったり、今の日本の仏教の課題など、僧侶ではない在家の方のお話や意見を聞くことができ本当によかったです。

2月14日

「ハッピーニューイヤー」

本日は、チベット歴のお正月です！今日もまた色々な出合いがあった。一人は、世界を旅しているカナダ人のデビットさんである。オーストラリアの民族楽器の「デイジュリジュ」とインドの竹でできた笛「バンスリー」を持って泊まりに来た。せつ々なので、お寺の本堂を締め切って演奏をしてみたら、「デイジュリジュ」は独特の重低音で、本堂の中で音が反響して色んな場所から聞こえてくる。「バンスリー」は、尺八のようにやさしい音で、少し息が抜けるような音が特徴です。

夜になって、富山のお寺さんのグループに本堂でお寺の話や、インドの話、またインドの子供たちの事情や、色んな人の協力で建ち、色んな人の協力で今も維持しているということと私自身が思っていることを精一杯伝えました。その後、皆さんの前でデビットさんに演奏をしてもらいました。本堂のお釈迦様の前で聞くと本当に感動の一言でした。癒し

というか、不思議な感じになるというか、言葉ではなかなか言い表せない雰囲気味わえました。ツアーの中の人は、涙を流しながら聞かれていました。また今日もいい一日

続きは、次号に掲載

いたします。



○平成二十二年役員紹介

- 理事長 加藤光照〔福井・泉通寺〕
- 専務理事 清水涼裕〔神戸・安養寺〕
- 理事(設立会員) 浅野正運〔神戸・浄福寺〕
- 伊藤涼導〔神戸・極楽寺〕
- 内田卓也〔東近江・福命寺〕
- 紀氏隆宏〔豊岡・来迎寺〕
- 古本肇滋〔神戸北区・極楽寺〕
- 杉山徹義〔宇治・正覚院〕
- 谷垣清喜〔豊岡・高校事務〕
- 前田昌宏〔京都・佛師〕
- 倍巖良明〔奈良・法徳寺〕
- 吉川文雄〔敦賀・善妙寺〕
- 吉水祥鳳〔敦賀・専安寺〕
- 清水良将〔神戸・安養寺〕
- 澤井義陽〔大阪・法衣仏具店〕
- 福田 勉〔大阪・旅行代理店〕
- アドバイザー 吉田裕貴子〔大阪・旅行代理店〕

インド仏心寺通信の発行予定及び寄稿文のご依頼

今回より、「インド仏心寺通信」を発刊することとなり、今更なりました。この「通信」は季刊発行として年3回(春・夏・秋冬)発行する予定です。1月と2月はインドへ行っての事が多い為にお休みします。春号は理事会(総会)報告を中心にさせていただきます。夏号はお盆明けに、会員皆様からの寄稿文を中心にさせていただきます。インドへ行くか、感想とか、インド仏心寺を支援する会に対するご意見などお寄せいただきたく思います。秋冬号は年度末に会費の請求と共に、1年間の活動状況やインドの様子をお知らせできるよう努力していきたく思います。ご意見をお待ちしております。

事務局

平成21年度会費・寄付者一覧

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(順不同敬称略)

神戸市 安養寺 清水良将 10,000	豊岡市 昌念寺 池田昌治 10,000	神戸市 宝地院 中川正業 10,000
神戸市 安養寺 清水涼裕 10,000	神戸市 安養寺 清水昭徳 10,000	西宮市 光明寺 堀川弘道 10,000
宇治市 正覚院 杉山徹義 10,000	東京都 来迎寺 藤村純子 10,000	敦賀市 専安寺 吉水祥鳳 10,000
豊岡市 辻 勝蔵 10,000	豊岡市 来迎寺 紀氏隆宏 10,000	洲本市 専称寺 輔老一完 10,000
神戸市 極楽寺 伊藤涼導 10,000	豊岡市 来迎寺 紀氏隆典 10,000	越前市 正高寺 堀 雅子 10,000
西宮市 光明寺 堀川弘道 10,000	神戸市 浄福寺 浅野正運 10,000	坂井市 西光寺 中林春夫 10,000
西宮市 光明寺 堀川 匡 10,000	横浜市 永田英司 10,000	和歌山 念佛寺 守安政弘 10,000
大阪市 松栄法衣 澤井義陽 10,000	埼玉県 輝元泰文 10,000	花巻市 光林寺 三井義覚 30,000
大阪市 松栄法衣 澤井美智子 10,000	海南省 永楽寺 京谷昌豊 20,000	豊岡市 蓮生寺 谷垣清喜 10,000
奈良市 法徳寺 倍巖良明 10,000		豊岡市 蓮生寺 村尾欣祐 20,000
日向市 廣田洋士 10,000	協賛会員	豊岡市 蓮生寺 村尾順子 10,000
神戸市 宝地院 中川正興 10,000	岡山県 辻 竜平 5,000	神戸市 勇海美栄 10,000
神戸市 宝地院 中川正業 10,000	越前市 上野 曠 5,000	神戸市 庄司俊恵 60,000
大津市 龍音寺 松溪貞照 10,000	名古屋 佐々木千種 5,000	神戸市 東福寺 谷口泰淳 10,000
神戸市 極楽寺 古本肇滋 30,000	西宮市 光明寺 堀川考生 5,000	神戸市 西光寺 木全一乗 10,000
神戸市 橋 明代 10,000	西宮市 光明寺 堀川道仁 5,000	和歌山 浄土院 前田智教 10,000
福井市 横山真二 10,000	東京都 光源寺 島田昭博 5,000	笠間市 光明寺 石井良空 50,000
敦賀市 専安寺 吉水祥鳳 10,000	敦賀市 専安寺 吉水正善 5,000	瀬戸市 小川政夫 10,000
越前市 正高寺 堀 雅子 10,000	洲本市 専称寺 輔老一完 5,000	名古屋 自然院 秦 智宏 10,000
坂井市 西光寺 中林春夫 10,000	和歌山 念佛寺 守安政弘 5,000	豊岡市 昌念寺 池田昌治 10,000
花巻市 光林寺 三井義覚 50,000	神戸市 勇海美栄 5,000	神戸市 浄福寺 浅野正運 10,000
神戸市 池永雅彦 10,000	神戸市 木戸博和 5,000	島根県 笹部一真 10,000
豊岡市 谷垣清喜 10,000	神戸市 丹波ふさえ 5,000	千葉県 大西秀雄 10,000
豊岡市 蓮生寺 村尾欣祐 10,000	福井市 横山忠雄 5,000	一般寄付
豊岡市 蓮生寺 村尾順子 10,000	和歌山 浄土院 前田智教 5,000	越前市 上野 曠 10,000
神戸市 勇海美栄 20,000	神戸市 南八重子 5,000	名古屋 佐々木千種 10,000
兵庫県 成仏寺 藤田教司 10,000	神戸市 森 英也 5,000	神戸市 麦谷富雄 15,000
福井市 横山忠雄 10,000	神戸市 菌川 進 5,000	青森県 正明寺 片山徳崇 5,000
大阪市 トラベルサライ 10,000	瀬戸市 小川政夫 5,000	調 実叡 5,000
石川県 天徳寺 水元栄運 10,000	神戸市 粉野清子 5,000	河原清志 10,000
神戸市 北井和夫 10,000	神戸市 木戸正子 5,000	大阪市 西島泰史 10,000
神戸市 東福寺 谷口泰淳 10,000		神戸市 渡辺實男 20,000
神戸市 西光寺 木全一乗 10,000		滋賀県 福泉寺 大田利幸 10,000
和歌山 浄土院 前田智教 10,000	里親会員	高原綱平 5,000
越前市 大寶寺 吉田悦應 10,000	大阪市 澤井美智子 10,000	設立会員 1,739,120
越前市 大寶寺 吉田房子 10,000	大阪市 澤井義陽 10,000	
笠間市 光明寺 石井良空 100,000	豊岡市 辻 勝蔵 10,000	
名古屋 自然院 秦 智宏 10,000	奈良市 法徳寺 倍巖良明 10,000	
	神戸市 宝地院 中川正興 10,000	

以上の皆様が、会費並びに寄付をお納め頂きました。ご報告申し上げます。誠に有り難うございました。